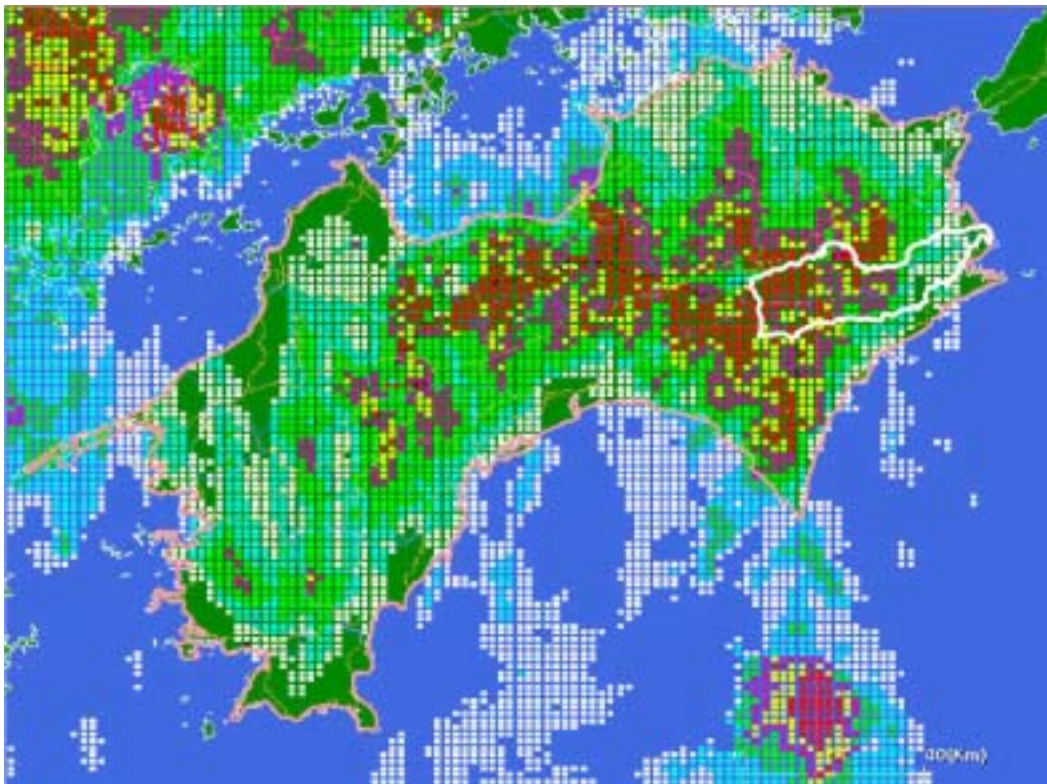


速報版

平成17年9月9日

平成17年

台風14号による那賀川下流の出水状況



国土交通省レーダー雨量（平成17年9月6日午後8時頃）

国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所

注) 本資料は那賀川本川下流についてとりまとめた資料です。また、資料における数値については、平成17年9月9日現在の速報値であり、今後修正される可能性があります。

気象の概要

平成17年8月29日午後9時にマリアナ諸島付近で発生した台風14号は、9月6日午後2時頃、長崎県諫早市付近に上陸し、強い勢力(中心の気圧960ヘクトパスカル、中心付近最大風速35m/s)を保ったまま毎時約30kmで北上し、福岡県福岡市付近を通過し、日本海を北東に進み、7日午後11時半頃には北海道の渡島半島のせたな町付近に再び上陸しました。その後、北海道を縦断し、8日午前6時頃にオホーツク海へ抜け午後3時頃に温帯低気圧に変わりました。

那賀川流域においては、9月4日の午前5時頃から雨が降り始め、台風の雨域が接近した9月6日午後2時～午後10時の8時間に上流で300～400mm程度の激しい降雨を記録しました。この降雨による流域平均総雨量(9月4日～7日の4日間)は約730mm(速報値)で、平年における9月～10月の総雨量に匹敵します。なお、春から続いていた濁水は、この降雨により解消されました。

各観測所の総雨量は、上流で800～1,200mm、中流で500～700mm、下流で200～400mmにおよび、上流の降雨規模が卓越していました。

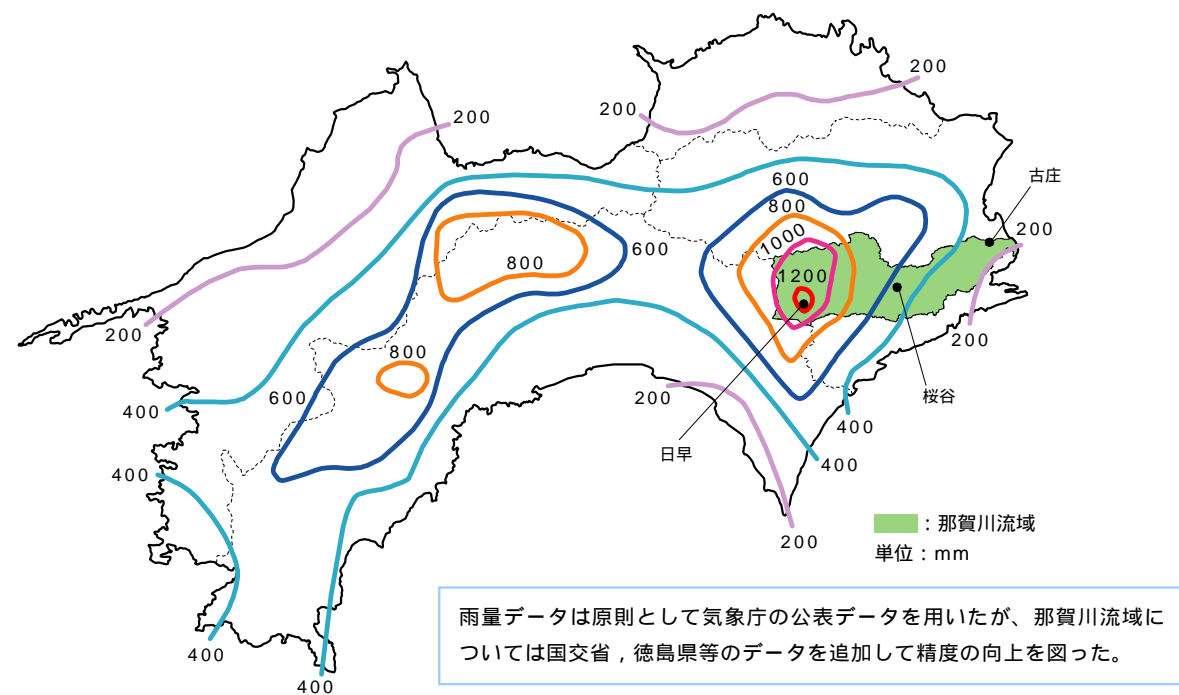
那賀川流域における主な観測所の総雨量

(9月4日～7日)は、以下のとおりです。

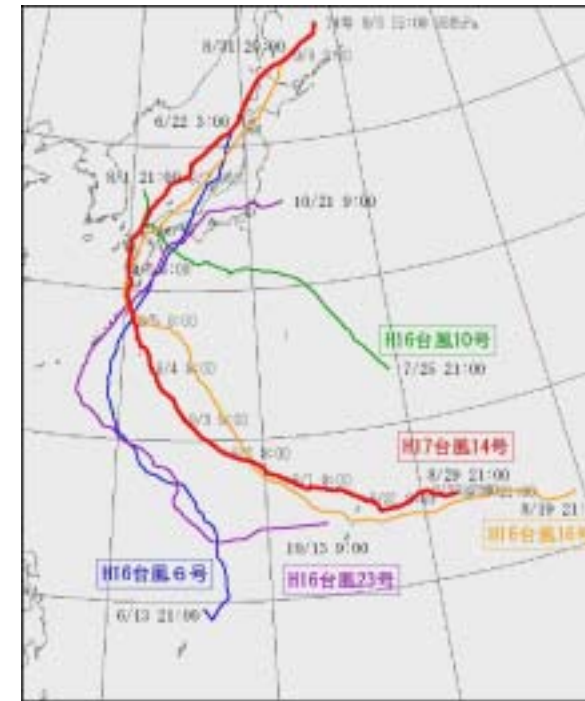
日 早 1,228mm(四国電力)
 桜 谷 574mm(国交省)
 古 庄 258mm(国交省)
 () : 観測所所管



台風14号等雨量線図〔総雨量：平成17年9月4日～7日〕



台風14号進路図



(気象庁発表)

台風14号経過一覧(8月29日～9月7日)

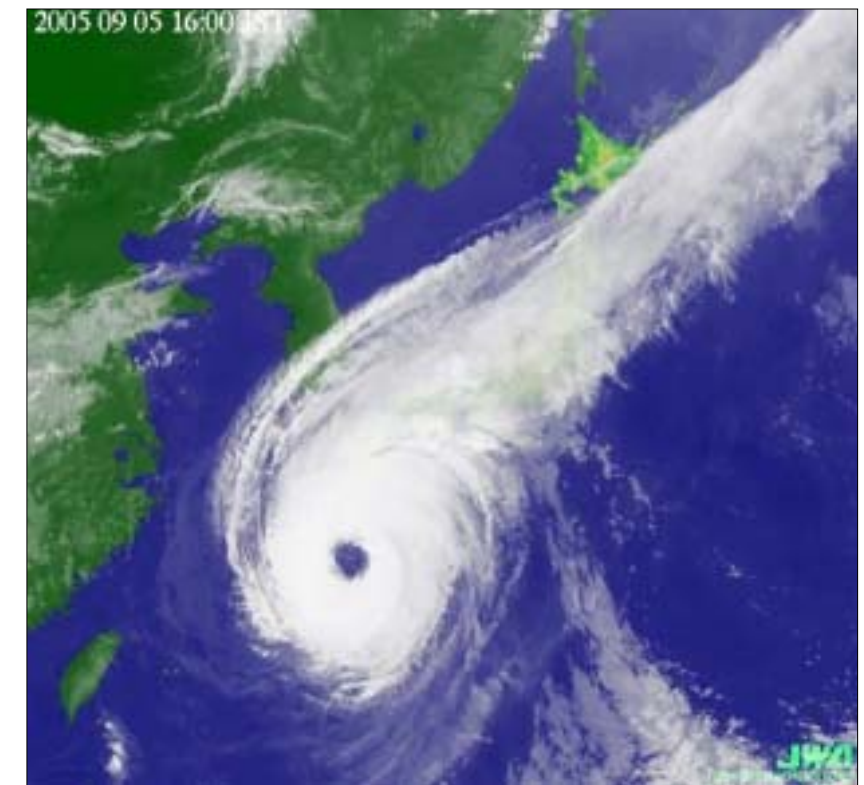
- 8月29日 21時00分 台風14号発生(マリアナ諸島付近)
- 9月 5日 21時38分 大雨洪水警報(那賀・勝浦)発表(気象庁)
- 9月 6日 2時00分頃 **指定水位(3.50m)到達〔古庄〕**
- 2時00分 那賀川事務所 注意体制
- 13時52分 大雨洪水暴風警報(阿南)発表(気象庁)
- 14時00分頃 台風14号長崎県諫早市付近上陸
- 18時30分 **水防警報(準備)発令**
- 21時50分 那賀川事務所 警戒体制
- 21時50分 **水防警報(出動)発令**
- 22時40分頃 **警戒水位(5.00m)到達〔古庄〕**
- 22時50分 **那賀川洪水予報(洪水注意報)発令**
- 9月 7日 2時30分頃 **最高水位(6.42m)記録〔古庄〕**
- 2時55分 大雨洪水強風注意報(阿南)切替(気象庁)
- 7時30分 大雨洪水注意報(那賀・勝浦)切替(気象庁)
- 8時10分 那賀川事務所 注意体制
- 8時10分 **水防警報(解除)発令**
- 8時45分 **那賀川洪水予報(洪水注意報解除)発令**
- 14時30分 那賀川事務所 注意体制解除

近3カ年の主要台風

洪水名	台風名	古庄地点最高水位
H15.5洪水	台風4号	5.21m
H15.8洪水	台風10号	6.93m
H16.6洪水	台風6号	5.87m
H16.7洪水	台風10号	6.18m
H16.8洪水	台風16号	6.00m
H16.10洪水	台風23号	7.29m
H17.9洪水	台風14号	6.42m

【台風14号の特徴】
 大型で強い台風
 台風14号は、大型で強い台風であり、九州接近時の暴風域は、九州全体がおさまる大きさで、強風域においては、本州がすっぽりおさまるほどの大きさであった。
 進行速度が遅い台風
 東西の高気圧に進路を阻まれたことにより、九州接近時の進行速度は時速15kmと遅く、上陸後も進行速度が上がらず長時間におよび降雨をもたらした。

気象衛星画像(日本気象協会提供)

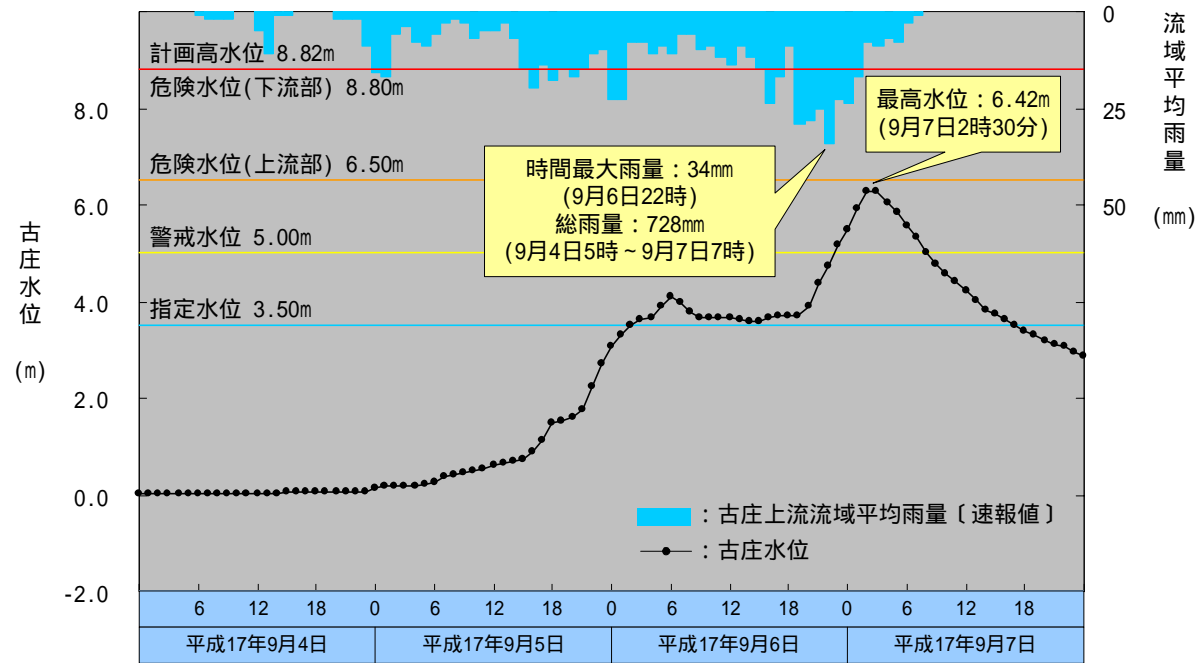


平成17年9月5日午後4時

那賀川の出水状況

那賀川流域では、激しい降雨により、那賀郡羽ノ浦町の古庄水位観測所(基準地点)において、6日午後10時40分頃に警戒水位を超え、7日午前2時30分頃には最高水位(6.42m)を記録しました。今年に入って初めて警戒水位を超える出水ですが、過去3年では7回目の出水となりました。

雨量・水位グラフ(平成17年台風14号)



被災状況

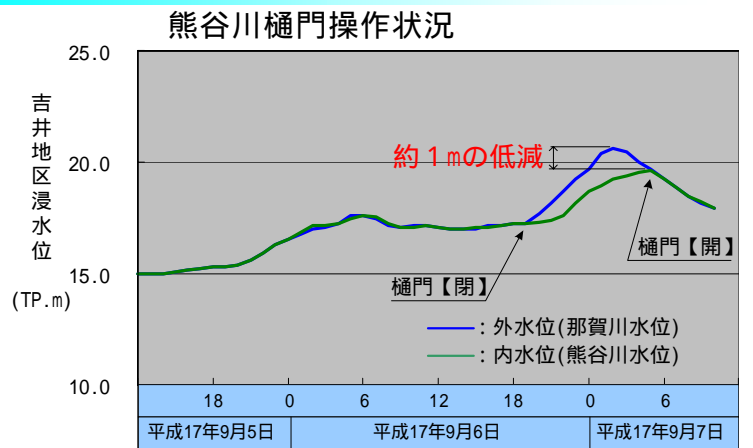
那賀川の直轄管理区間では無堤地区等の阿南市5地区(加茂, 深瀬, 吉井, 楠根, 持井)において浸水被害が発生しました。また、羽ノ浦町下向地区において堤防漏水が発生しましたが、羽ノ浦町水防団による水防活動として「月の輪工」が実施され、堤内の安全を確保することができました。

被災箇所位置図



吉井地区堤防締切の効果

阿南市吉井地区では、平成17年3月に熊谷川樋門が竣工し、一連区間の堤防締切が完了しました。このため、今回の出水における吉井地区の浸水位は、約1m低くなり、浸水面積が約17ha減ったほか、家屋や県道は浸水を免れました。



吉井地区堤防締切による浸水被害の軽減状況

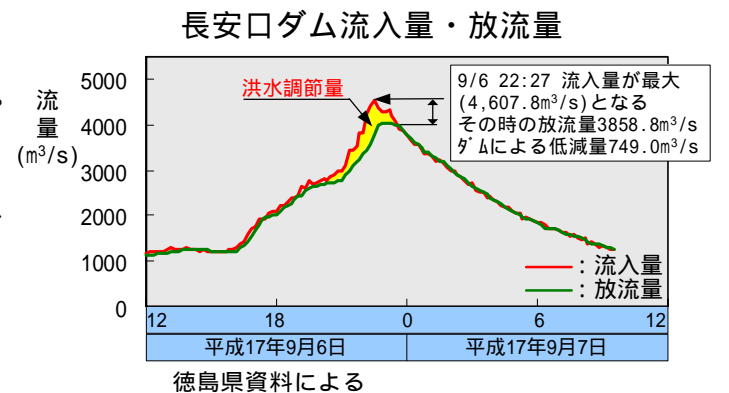
	堤防締切前	堤防締切後	差
浸水面積 (ha)	78	61	17
県道冠水長 (m)	560	0	560
浸水家屋数 (戸)	床上	0	1
	床下	4	0
浸水位 (TP.m)	20.5	19.5	1

上表の値は推定値です。



長安口ダムの洪水調節

長安口ダムは、洪水の一部を貯留し、ダム下流への洪水を低減する機能を有しています。台風14号洪水において長安口ダムでは、最大流入量4,607.8m³/sを749.0m³/s調節し、放流量を3,858.8m³/sにすることにより下流の流量を低減させました。



那賀川の浸水被害の状況

那賀川では、阿南市内の5地区で浸水被害が発生しました。5地区における被害状況は下表のとおりです。浸水家屋は発生しなかったものの、浸水面積の合計は約126haに及びました。

地区名	河口からの距離(km)	被害状況		備考
		台風14号 (H17.9.7)		
		浸水面積 (ha)	浸水家屋数	
加茂	17.0	約42.0	0戸	無堤地区
深瀬	16.4	約6.0		無堤地区
吉井	14.0	約61.0		有堤地区 (H17.3堤防完成)
楠根	13.0	約12.0		有堤地区
持井	11.0	約5.0		無堤地区
合計		約126.0	0戸	

(注1) 上表の被害状況は速報値であり、今後修正する可能性があります。
 (注2) 浸水面積、浸水家屋数は那賀川河川事務所調べ。

■ 浸水区域図



避難の状況
 阿南市では、9月6日午後11時55分に加茂・吉井・楠根地区の97世帯345人を対象に避難勧告が発令され、66人が公民館等に避難しました。(避難勧告解除：7日午前6時)
 また那賀町では、白石・木頭出原・和食地区の73世帯169人を対象に避難勧告が発令されました。

(注) 浸水範囲は推定であり、現在実施中の洪水痕跡調査結果により精度向上を図ります。



那賀川橋（基準地点古庄 7.0km付近）
〔平成17年9月7日午前2時頃〕（CCTVからの映像）



阿南工業用水取水塔（6.0km付近）
〔平成17年9月7日午前6時30分頃〕



北岸堰（10.4km付近）
〔平成17年9月7日午前7時頃〕

那賀川・桑野州のこと
もっと知ってみませんか？

なかがわ流域
イベント情報 掲載中♪



那賀川河川事務所ホームページ
<http://www.skr.mlit.go.jp/nakagawa/>

TEL (0884)22-6461 FAX (0884)22-7062

平成17年9月9日作成